

参 考 资 料

目黒区環境基本計画（2012（平成24）年3月改定） 指標達成状況

【2014（H26）年度時点の達成状況の凡例】◎ 目標値を達成 ○ 目標値を達成しているが、数値が減少・悪化している ◯ 目標値に近づいている △ 目標値に近づいていない

基本目標	基本方針	指標		基準年度	基準年度末時点実績値	推移				2021（H33）年度数値目標	2014（H26）年度までの傾向		2014（H26）年度時点の達成状況（評価）	備考		
						（参考）2011（H23）年度	2012（H24）年度	2013（H25）年度	2014（H26）年度		傾向	達成/未達成				
1 良質な生活環境を守りはぐむ	1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす	大気環境	大気汚染常時監視（二酸化硫黄／一酸化炭素／浮遊粒子状物質／二酸化窒素／光化学オキシダント／PM2.5）		2010年度	4項目達成（光化学オキシダント非達成）	4項目達成（光化学オキシダント非達成）	4項目達成（光化学オキシダント非達成）	3項目達成（浮遊粒子状物質、光化学オキシダント非達成）	4項目達成（光化学オキシダント非達成）	環境基準の達成	横ばい	未達成	○	2015（H27）年度から、二酸化硫黄、一酸化炭素については常時監視項目からはずし、代わりにPM2.5の監視を開始した。	
			沿道の窒素酸化物濃度		2010年度	全地点達成	—	全地点達成	全地点達成	全地点達成	全地点達成*	改善	達成	◎	※測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（12地点）で環境基準を満たしていること 2015（H27）年度から測定地点を8地点に減らした。	
		水環境（目黒川での水質測定）	生活環境項目（水素イオン濃度／溶存酸素／生物化学的酸素要求量／浮遊物質）		2010年度	1地点で1回BODが環境基準値を超過	—	全月達成	全月達成	全月達成	全月達成*	2012 → 2013年度に大きく改善した後、横ばい	達成	◎	※全地点（3地点）、全月（年4回）で環境基準を満たしていること	
			衛生環境項目（カドミウム／全シアン／鉛／六価クロム）		2010年度	全月達成	—	全月達成	全月達成	全月達成	全月達成*	達成を継続	達成	◎	同上	
		騒音（沿道の交通騒音測定－面的評価調査－）	対象道路*（玉川／目黒／山手／駒沢／環七／鮫洲大山／自由／淡島）		昼間	—	—	—	6地点中3地点で達成	6地点中5地点で達成	6地点中4地点で達成	全6地点で環境基準の達成	横ばい	未達成	△	※「国土交通省平成22年度道路交通センサス」（22区間）が対象。単年度の測定は、全22区間から偏りのないよう計画的に6区間（地点）を選定して実施している。
	夜間				—	—	—	全6地点で未達成	6地点中2地点で達成	6地点中3地点で達成	全6地点で環境基準の達成	横ばい	未達成	△		
	1-2 みどりあふれるまちで暮らす	環境指標	みどりの量	緑被率		2003年度	17.1%	—	—	—	17.3%	20%（2015年度）	改善	未達成	○	
				公園・ひろば等の面積		2010年度	49.01ha	49.04ha	50.05ha	50.05ha	50.05ha	52ha	改善	未達成	○	
			みどりの質	公園等で活動を行う登録団体数		2010年度	91団体	94団体	97団体	106団体	109団体	100団体	改善	達成	◎	※公園活動登録団体とグリーンクラブ
				指標在来生物種の分布率		2010年度	37%	—	37%	42%	42%	50%	改善	未達成	○	
取組指標		みどりのまちなみ助成緑化面積・延長（累計値）	接道		2010年度	9,581.12m	9,768.69m	9,942.46m	10,073.59m	10,226.43m	増加	増加	達成	◎		
			屋上		2010年度	3,726.55㎡	4,173.36㎡	4,350.12㎡	4,457.63㎡	4,741.56㎡	増加	増加	達成	◎		
			壁面		2010年度	414.67㎡	445.93㎡	449.07㎡	476.85㎡	476.85㎡	増加	増加	達成	◎		
		いきもの気象台情報提供数		2010年度	1,695件	1,426件	1,852件	3,042件	2,624件	増加	2013→2014年度は減少	達成（2010年度実績に対し増加）	◎			
		いきもの発見隊実施回数／参加人数		2010年度	2回／134人	2回／68人	2回／56人	2回／83人	2回／47人	継続	2010年度比人数減少	達成（取組は継続）	◎			
		野鳥の年間確認種数		2010年度	52種	53種	41種	52種	50種	維持	横ばい	達成	△	※1～12月での集計		

※2011（平成23）年度の欄の「—」：環境報告書（当時）において推移を把握していないもの

基本目標	基本方針	指標	基準年度	基準年度末時点実績値	推移				2021 (H33) 年度数値目標	2014 (H26) 年度までの傾向		2014 (H26) 年度時点の達成状況 (評価)	備考	
					(参考) 2011 (H23) 年度	2012 (H24) 年度	2013 (H25) 年度	2014 (H26) 年度		傾向	達成/未達成			
1-3 安らぎのあるまちをつくる	取組指標	スーパーズの活動団体数	2010年度	32 団体	—	32 団体	33 団体	33 団体	増加	推移は横ばい	達成 (1 団体増加)	◎		
		違反屋外広告物除去数	2010年度	63,702 枚	—	97,567 枚	102,123 枚	104,296 枚	減少	増加	未達成	△		
		区内文化財めぐり開催回数/参加者数	2010年度	7回/246人	—	6回/163人	6回/163人	6回/147人	継続	継続しているが参加人数は減少	達成	◎		
2 ライフスタイルの転換で環境を守りたくむ	環境指標	ごみ量	2010年度	54,480t	54,778t	54,688t	54,933t	54,020t	42,163t	改善	未達成	○		
		リサイクル率	2010年度	27.9%	27.7%	27.7%	27.6%	27.5%	2016 (H28) 年までに40%	やや悪化	未達成	△		
	取組指標	資源回収量	2010年度	21,029t	20,936t	21,000t	20,949t	20,490t	増加	やや減少	未達成	△		
		区民 1 人・1 日当たりのごみ量	2010年度	570g	571g	567g	562g	549g	減少	減少	達成	◎		
		区民 1 人・1 日当たりの資源量	2010年度	220g	218g	218g	214g	208g	増加	減少	未達成	△		
		マイバッグ持参率	2010年度	69.3%	—	71.1%	78.4%	76.7%	増加	増加	達成	◎		
	2-2 地球にやさしい地域社会をつくる	環境指標	温室効果ガス (二酸化炭素) 排出量	2004年度	1,159 千 t-CO ₂ eq	1,117 千 t-CO ₂ eq (2009 (H21) 年度実績値)	1,087 千 t-CO ₂ eq (2010 (H22) 年度実績値)	1,118 千 t-CO ₂ eq (2011 (H23) 年度実績値)	1,187 千 t-CO ₂ eq (2012 (H24) 年度実績値)	1,101 千 t-CO ₂ eq (2012 (H24) 年度目標値)	悪化	未達成	△	
		取組指標	太陽光発電システムの助成件数 (累計値) ※	2010年度	95 件	—	301 件	400 件	484 件	増加	増加	達成	◎	※住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費の助成額を、太陽光発電システムの助成上限額で換算した件数
			区内街路灯のLED設置数 (累計値)	2010年度	632 基	—	1,989 基	2,721 基	3,537 基	増加	増加	達成	◎	
			庁用車の低公害車導入台数	2010年度	1 台	—	1 台	3 台	5 台	増加	増加	達成	◎	
保水性舗装・遮熱性舗装の整備面積			保水性舗装	2010年度	276 m ²	—	整備なし	909 m ²	906 m ²	増加	増加	達成	◎	
			遮熱性舗装	2010年度	1,176 m ²	—	整備なし	整備なし	1,260 m ²	増加	増加	達成	◎	
3 環境を守りたくむ人づくり	環境指標	環境推進員養成講座修了者数 (累計値)	2010年度	63 人	—	100 人	124 人	146 人	263 人	増加	未達成	○		
		環境保全活動参加経験率※	2012年度	5.8%	—	5.8%	6.3%	6.8%	2012 (H24) 年度実績値 +10%	増加	未達成	○	※環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組への参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合	
		環境に関する情報提供の満足度※	2012年度	11.0%	—	11.0%	16.9%	14.2%	2012 (H24) 年度実績値 +10%	増加	未達成	○	※環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合	
	取組指標	普及版めぐるグリーンアクションプログラムの参加件数/修了件数	2011年度	144 件/3 件	144 件/3 件	164 件/30 件	600 件/19 件	500 件/1 件	増加	増加	達成	○		
		区ホームページ (もっと知りたい環境のこと) アクセス数	2011年度	697	697	502	407	239	増加	減少	未達成	△		
		めぐるグリーンアクションプログラム (事業所版) の新規認定件数	2010年度	1 件	—	1 件	2 件	3 件	増加	増加	達成	◎		
	環境指標	目黒区エコプラザ登録団体数	2010年度	8 団体	—	11 団体	8 団体	7 団体	38 団体 (3 団体/年)	減少	未達成	△		
		取組指標	地球温暖化対策地域協議会開催回数	2010年度	2 回	—	2 回	5 回	2 回	継続的な開催	継続	達成	◎	
			環境審議会開催回数	2010年度	4 回	5 回 (専門委員会 7 回)	3 回 (小委員会 3 回)	4 回 (小委員会 1 回) (専門委員会 3 回)	3 回	継続的な開催	継続	達成	◎	

※2011 (平成23) 年度の欄の「—」: 環境報告書 (当時) において推移を把握していないもの

目黒区環境基本計画（2012（平成24）年3月改定） 重点プロジェクトの進捗状況

プロジェクトテーマ	計画		主な実績 (平成24年度～平成27年度)	成果(➤)と課題(✓)
	レベル別	項目名		
テーマ1 地形・地勢を意識した 風とみどりと生き物の ネットワークづくり	レベル1	川や坂など目黒区の地形が持つ 自然の役割の把握	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生き物の生息状況調査の実施 ➤ 目黒川水生生物調査の実施 ➤ みどりの実態調査の実施（2014（平成26）年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ エコロジカルネットワーク形成の推進を図るため、「目黒区生物多様性地域戦略」を2014（平成26）年3月に策定した。今後、継続的な事業展開が必要である。 ➤ レベル3のネットワーク形成では、地域住民に対する継続的な支援を行った。 ➤ みどりの保全・創出・育成に向けた取組を総合的かつ体系的に進めるため、「目黒区みどりの基本計画」を2016（平成28）年3月に改定した。
	レベル2	ビオトープ的な地点の創出	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校ビオトープ活動支援 ➤ みどりの条例に基づく緑化計画の協議 	
	レベル3	風と生き物が結ぶ人・地域の ネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「目黒区生物多様性地域戦略」の策定（2013（平成25）年度） ➤ 地域住民によるビオトープの保全・管理 ➤ 目黒区みどりの基本計画改定（2015（平成27）年度） 	
テーマ2 節電からはじめる ライフスタイルの転換	レベル1	節電生活の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ➤ CO₂削減/ライトダウンキャンペーン参加呼びかけ（環境省主催） ➤ エコまつり・めぐろに出展（エコライフめぐろ推進協会主催） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方を「めぐろスマートライフ」と名付け、「誰でも、楽しく、簡単にできる」をコンセプトに衣・食・住について賢く楽しみながら実践できるようなホームページを2015（平成27）年4月に開設した。 ✓ 地域・事業者・専門学校等多様な主体との連携を模索していくことも必要。 ✓ ホームページのアクセス数を上げていくための工夫等が必要。
	レベル2	新しいライフスタイルの提案 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2012～2013（平成24～25）年度は、環境審議会小委員会や（仮称）スマートライフ提案会議準備会を開催し、実施方法について検討 ➤ 2014（平成26）年度に衣・食・住の専門家を構成員とした会議体を設置し、ホームページのデザインや構成等について検討 	
	レベル3	めぐろスマートライフの 確立・発信	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2015（平成27）年4月にホームページを開設 ➤ エコまつり・めぐろ2015（エコライフめぐろ推進協会主催）に出展し、ホームページの認知度を調査 	
テーマ3 地球温暖化対策の推進	レベル1	目黒区地球温暖化対策地域推進 計画の推進と中長期を見据えた 取組への転換	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」の策定（2013（平成25）年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 目黒区における2014（平成26）年度以降の温室効果ガス削減目標や具体的取組について定め、区民、事業者、区が一体となって地球温暖化対策を推進していくため、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」として改定した。 ➤ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」では、区の取組について、これまでの「家庭」「学校」「事業所」「自動車利用」「みどりの保全・創出」を「緩和策」として位置付け、新たに熱中症予防等の対策等の「適応策」を加え、この2つを地球温暖化対策として整理した。 ➤ 目黒区住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成により再生可能エネルギーの導入促進を図るとともに、対象機器としてHEMS（家庭用エネルギー管理システム）及びマンション共用部LED照明を追加し、エコモデル住宅・マンションの啓発を図った。 ✓ レベル3の取組について、エネルギーの管理・融通等による環境負荷の低減を考慮した「スマートコミュニティ」、「スマートシティ」の実現に向けた環境整備等、区域を越えた取組を検討する必要がある。
	レベル2	低炭素社会形成に向けた住環境 整備	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成 ➤ みどりまちなみ助成による屋上緑化・壁面緑化の推進 ➤ 区道街路灯のLED化及び商店街街路灯のLED化の支援 ➤ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」への適応策設定 	
	レベル3	区域を越えた環境への負荷の 見える化とオフセットの仕組み づくり	<ul style="list-style-type: none"> ➤ HEMS（家庭用エネルギー管理システム）の普及啓発によるエネルギーの見える化 	

目黒区環境基本計画（2012（平成24）年3月改定） 今後の課題と方向性

目黒区環境基本計画 (現行)		これまでの成果と課題 (めぐるの環境より)	環境に対する区民の意識と行動に 基づく課題 (環境に関するアンケート調査より)	国・東京都の環境政策、区の関連計画を踏まえ、 現行計画から強化・充実が必要な事項	今後の課題と方向性
基本 目標	基本方針				
1 良好な生活環境を守りはぐくむ	1-1 きれいな空気 と水辺のある まちで暮らす	○大気環境、道路環境に、一部環境基準を達成していない項目があるものの、生活環境は概ね改善傾向 ○一方で、生活公害に関する相談件数が横ばいで、内容が多岐にわたっており、新たな課題	○生活環境は全体的には改善傾向にあるが、水環境や交通騒音等、評価が横ばいの問題もあり、継続的なモニタリングが必要	○PM2.5、光化学オキシダントに関わる取組の強化	○生活環境は概ね改善傾向にあるが、大気環境の監視・情報提供、水環境の保全、有害物質対策、身近な生活環境の保全については継続的な取組が必要 ○特にPM2.5、光化学オキシダントに関わる取組について、東京都と連携した情報提供等を進めることが必要 ○生活公害の防止に向けた取組の充実が必要
	1-2 みどりあふれる まちで暮らす	○みどり、公園については、緑被率、公園・ひろば等の面積が増加しているものの、民有地のみどりの減少が課題 ○公園の管理やいきものの調査への住民参加が進展	○みどりの量についてはやや増加していると評価されているが、野鳥・昆虫等を見かける機会の多さや植物の種類数、自然観察ができる水辺や緑地の多さの評価は横ばいであり、継続的なみどりの保全・創出が必要 ○自宅の緑化に取り組んでいる区民は高齢者や戸建て住宅に偏っており、若年齢層や集合住宅での緑化の推進が必要	○エコロジカルネットワークの形成に向けたみどりの保全と創出の更なる推進 ○みどり、自然とのふれあい、いきものとのつながり等に関する区民、事業者の意識醸成 ○みどりの保全と創出、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた多様な主体の協働	○みどり豊かな生活環境の確保、生物多様性の確保の観点から、みどりの保全と創出を通じたエコロジカルネットワークの形成を推進していくことが必要 ○みどりや生物多様性に対する区民意識の醸成、取組が進んでいるみどりに関わる活動における区民協働を更に推進していくことが必要
	1-3 安らぎのある まちをつくる	○まちの美化活動が活発に行われているが、違反屋外広告物の除却数は増加しており、継続的な対策が必要	○地域の美化についての評価は改善傾向にあり、継続的な取組が必要 ○散策に適した場所や、歴史的、文化的な場所の多さ等の景観や街並みの美しさについての評価は横ばいである	—	—
2 ライフスタイルの転換で環境を むくむ	2-1 ものを大切に する地域社会 をめざす	○ごみ量、区民1人・1日当たりのごみ量は改善しており、継続的な取組が必要 ○一方で、リサイクル率、資源回収量、区民1人・1日当たりの資源量が減少しており、資源化（再生利用）に向けた継続的な対策が必要	○ごみの発生抑制、リサイクル関連の取組はある程度区民にも広がっているが、日常的に行っているのは高齢者や二世帯、三世帯の世帯が多く、若年齢層や一人暮らし世帯に向けた普及啓発が課題 ○めぐる買い物ルール、使用済小型家電回収の認知度向上に向けた取組が必要	○優先順位の高い2R（発生抑制・再使用）の強化 ○有用な資源の回収と有効活用の更なる推進 ○区民・事業者との連携（普及啓発、マナー向上、適正排出等）	○循環型社会の形成の重要性を考慮した施策の位置づけの強化 ○優先順位の高いごみの発生抑制、再使用の強化 ○再資源化に向けた取組（資源回収、有効活用）の充実
	2-2 地球にやさしい 地域社会を つくる	○温室効果ガス排出量は増加しているものの、省エネ対策、再生可能エネルギーの利用は着実に進んでおり、継続した取組が必要	○家庭での省エネルギーの取組は進められているが、コンセントをプラグから抜くなどの、手間のかかる取組の頻度が減少している ○省エネルギーの取組は進められているものの、エネルギー使用量の削減効果（対前年度）が頭打ちの傾向にある	○家庭、事業所における省エネ、創エネの取組の更なる推進 ○家庭、事業所におけるエネルギーマネジメントの推進 ○水素社会の実現に寄与する普及啓発（燃料電池の普及、水素エネルギーに関する啓発等） ○気候変動への適応策の充実	○家庭や事業所における省エネルギー対策、再生可能エネルギー導入に加え、エネルギーを無駄なく賢く使うライフスタイル（エネルギーマネジメント等）への転換に関する取組の充実 ○国全体で推し進められている水素社会の実現に寄与する、水素エネルギー活用への普及 ○気候変動への適応策が必要
3 環境を守りはぐくむ 人づくり	3-1 人を育てて 行動を促す	○環境推進員養成講座修了者数、普及版めぐるグリーンアクションプログラムへの参加件数は増加しており、今後は人材の活用、行動の継続・定着を図っていくことが必要 ○一方で、区ホームページへのアクセスが減少していることから、区民に届く情報発信を工夫していくことが必要 ○事業所による取組は進んでいるものの、件数は多くなく、事業所（特に中小企業）の行動促進は課題	○環境活動に参加している人は高齢者が多く、若年齢層の活動参加を促進していくことが必要 ○参加できない理由として費用がかかることや時間、情報の不足が多く挙げられているため、環境活動の参加促進には時間や費用の制約が少ない活動の仕方を、広く普及啓発していくことが必要 ○区報や掲示板等の従来の広報手段を中心に、区ホームページやメール、SNS等のインターネット媒体を有効に活用した普及啓発を行うことが必要	○個人や事業者の環境配慮行動の浸透 ○次世代の人材育成 ○多様な主体間のネットワークの構築	○個人や事業者の環境配慮行動を浸透させていくための普及啓発、情報提供、人材育成、活動支援は、すべての環境施策の基盤となる取組であり継続が必要 ○特に、情報発信、事業者（中小企業等）の行動促進について、取組の強化が必要 ○育成した人材の活用の推進と、活動の組織化、人材や団体の交流等の支援の強化が必要
	3-2 人のつながり を育てる	○目黒区エコプラザ登録団体が減少しており、育成した人材の活用とあわせて、活動の組織化、人材や団体の交流等の支援を強化していくことが必要	—	—	—

